

MITAS

VOL. 19
2026 FEB

[特集]

いま知っておきたい 侵入犯罪の手口と防犯対策



備える 三井のマンションの防犯対策をご紹介します

三井のマンションでは、入居者の皆さまが毎日を安心して暮らせるよう、ハード・ソフトの両面から防犯対策を行なっています。

☑防犯カメラの設置

エントランスやエレベーター、共用部などに防犯カメラを設置。



☑セキュリティ設備の管理体制

オートロックや防犯設備は、定期的な点検・管理を実施。



☑ライフサポーターによる巡回

共用部の巡回を実施し、安心・安全な住環境づくりを支えています。



※マンションごとに設備や防犯対策の内容が異なります。※写真はイメージです。

FRESH STAFF REPORT vol.3

私がフロントマネージャーになったワケ。

MY PROFILE

お一人おひとりの暮らしに
真摯に向き合い続けたいです。

入社までの道のり

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 2018年 | 地元大学を卒業後、小学校教諭として勤務 |
| 2021年 | 東京都内の分譲・投資用マンション管理会社に入社 |
| 2022年 | 三井不動産レジデンシャルサービスグループの分譲マンション管理会社に入社 |
| 2026年 | 地元宮城でマンション管理に携わりたく三井グループである当社に入社 |



宮城さん

Q.今年2月に入社したばかりの宮城さん。

この仕事を選んだ理由を教えてください。
前職ではグループ会社にて、現在と同様に約4年間分譲マンションの管理業務に携わっていました。多くの人の暮らしに長く関われることに加え、設備や維持管理など、幅広い分野を学べる点に魅力を感じ、この仕事を続けています。

Q.マンション管理の仕事で、特に印象に残っているエピソードを教えてください。

立ち上げ・管理開始当初から担当したマンションで、専門的な知識を持つお客様と向き合う中、自身の姿勢や覚悟を問われる経験がありました。厳しい言葉をいただくこともありましたが、「逃げずに正面から向き合おう」と決め、必死に勉強し真摯に対応し続けました。そうした積み重ねの中で信頼関係が生まれ、数年後の異動時には、生まれただけの子どもへよだれかけを贈っていただきました。「本当に真面目な方でした。真摯に取り組むその精神をこれからも大事にしてください。」という温かい言葉をいただいたことが、今も心に残る忘れられない出来事です。



Q.これからの仕事に対する意気込みを教えてください。

私が何より大切にしているのは、「真面目に、真摯にお客様と向き合うこと」です。フロントマネージャーとして、ご要望を聞くだけでなく、専門的な立場から最適な提案を行うことを心がけています。「あなたが担当で良かった。これからは頼むね!」と言っていただけるように、これまで学んできたことを活かして精一杯頑張ります!

いま知っておきたい 侵入犯罪の手口

と 防犯対策



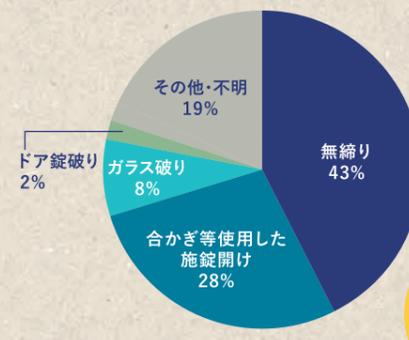
近年、マンションを狙った侵入犯罪が増加しています。
痛ましい事件の報道も多く、決して人ごとではありません。
本特集では、代表的な侵入手口と、日常生活の中で実践できる防犯対策をご紹介します。
住民一人ひとりの防犯意識と危機管理能力を高めるとともに、
マンションで行われている防犯対策への理解を深める機会としてお役立てください。

知る

「マンションの侵入手口とは？」

警察庁が公表している「侵入窃盗の手段」によると、共同住宅（4階建以上）の空き巣などの侵入窃盗は、「無締り（鍵のかけ忘れ）」が最も多い原因となっています。「短時間だから」「在宅しているから」といった油断が、被害につながるケースは少なくありません。
また、一戸建住宅に比べて「合かぎ等を使用した施錠開け」の割合が高いことも特徴です。郵便受けや玄関周辺、植木鉢の下などに合かぎを置く行為は非常に危険であり、鍵の保管・管理を徹底することが重要です。

【侵入窃盗の手段】



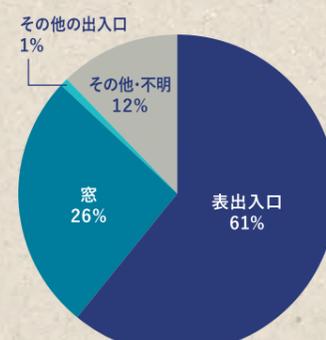
共同住宅(4階建以上)
総数:1,578件



「最も多い侵入口は「表出入口」」

「侵入窃盗の侵入口」のデータを見ると、共同住宅（4階建以上）では「表出入口」からの侵入が最も多いことが分かります。「入居者だと思っ てオートロック内に通したところ、そのまま侵入され被害に遭った」「帰宅時に後をつけられ、オートロック解除後にエレベーターへ同乗されて被害に遭った」といった、住民の善意や油断につけ込むケースが発生しています。オートロックがあるからといって安心せず、日常の行動一つひとつが防犯につながるという意識を持つことが重要です。

【侵入窃盗の侵入口】



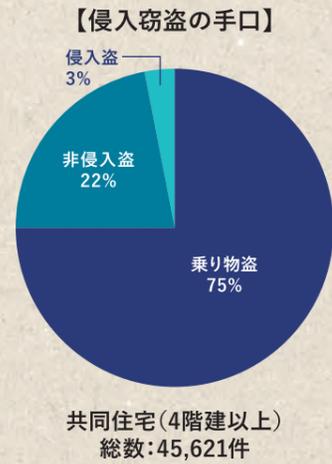
共同住宅(4階建以上)
総数:1,578件



出展：警察庁HP「令和6年の犯罪」 ※マンションごとに設備や防犯対策の内容が異なります。※写真はイメージです。

「乗り物窃盗」

さらに、マンションでは自転車やバイクなどの「乗り物窃盗」が全体の半数以上を占めており、非常に注意が必要です。駐車場や駐輪場は、住民・管理業者・配送業者など多くの人が出入りする場所であるため、侵入者が紛れ込みやすい傾向があります。「鍵をかけたいない」「短時間のつもりで油断した」など、ちょっとした隙が被害につながります。共用部であっても「自分の財産は自分で守る」意識が欠かせません。



侵入犯は、こんな隙を狙っています！

- オートロックのすり抜け(共連れ)
- ゴミ出し・短時間外出時の無施錠
- 低層階・共用廊下側の窓
- 宅配業者や点検業者を装うケース

「自分の住まいにも当てはまるかも」と感じたら

侵入犯罪は、特別な住宅や立地だけが狙われるわけではありません。日常のちょっとした油断が、被害を招くきっかけになります。もしかして…と感じた今こそ、防犯対策を見直すタイミングです！

今日からできる防犯対策

日常の中でできる防犯対策、意識していますか？
日々のちょっとした心がけが住まいの防犯力を高めます。



住戸内のできること

- 外出時はもちろん、在宅時も施錠を徹底する
- インターホン越しでの確認など、不審な来訪者への対応ルールを見直す



住戸外のできること

- 帰宅途中、怪しい人が後をつけないか意識する
- エントランスでの「共連れ」を防ぐ意識を持つ
- 宅配ボックスや掲示板を定期的に確認する
- 入居者同士で挨拶を交わし、顔の見える関係をつくる



侵入者は、防犯意識が高く住民同士のつながりがあるマンションを避けると言われています。
挨拶や声がけなど、日常のコミュニケーションが防犯につながります。

備える